

寄せられたご意見と市の考え方

(下松市多機能複合型スポーツ施設整備基本構想(案)
についてのパブリックコメント)

●提出された意見合計 34件(4人)

※提出いただいたご意見は、趣旨を変えない範囲内で簡略化または文言等の調整をしているものがあります。

番号	頁	意見(要約)	市の考え方
1	29	建設費用の調達が大きな課題と言えます。基金を開設して、市民、企業、各種団体からの寄付を集めてはいかがでしょうか。下松市の施設建設に対し、市民の参画意識は大事です。	財源確保については、様々な選択肢を検討していく必要があります。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
2		施設管理者は弓道の目的や活動に詳しくはないと予想されます。弓道場を最も有効に活用するためには、弓道連盟による運用管理が適当と考えます。施設管理と運用管理の関係性を明らかにしていただきたいです。	整備・運営の手法や施設管理の組織体制が決定しているものではないため、現時点で施設管理と運用管理の関係性を明らかにすることは困難です。施設整備後に円滑な運用管理ができるよう、ご意見を踏まえ、運用方法を検討することとします。
3		弓道連盟による運用管理とする場合ですが、施設の利用方法、行事の開催、必要と考える備品の準備で提案が出てきます。これは施設の設計段階で協議し、実際の運用にお互いの思いの齟齬が出ないようにしたいです	施設の設計段階において専門家及び関係者のご意見を取り入れ、円滑な運用管理ができるよう検討することとします。
4		公共施設の建設と運用のコスト削減でPPP方式は以前から期待された方式であり、検討することは有益です。スポーツ施設は事業としての発展性が乏し	利用料については、施設の詳細が決まる前に提示することは困難ですが、施設の供用開始前に公表する予定としています。

		いことから、将来にわたっての民営が可能か、前提条件の精査には困難さも考えられます。利用者の利用のしやすさに、利用料は大きな要素になります。運営管理者次第で、利用料の設定が変わるように思います。利用料は市民が納得するレベルの維持は将来にわたって重要です。事前の設定と公表を期待します。	
5	37	市民の期待に対してスケジュールが長いように感じます。5年も経ちますと、世代も替りますし、今まで期待してきた方々に利用していただけない心配があります。長期間の検討や計画にもコストが掛り、建設着手時には資材費や人件費も高騰します。令和8年度当初からの施設利用ができるような計画を立てていただきたいです。設計と工事を一体で、ゼネコンや建設会社に委託されてはいかがでしょうか。建設工事費用を意識した設計とし、短い工事期間で建設してもらいたいです。	今後の工程として基本計画策定、事業者選定、設計、建設施工等があり、相応の期間を要します。そのため、令和8年度当初からの施設利用は困難ですが、本事業を停滞させることなく、着実に進めていきたいと考えています。 整備手法については、設計と施工を一括発注する手法も視野に入れて検討することとします。
6	20	十分な広さの駐車場に近く、そこからの移動の高低差が無いことが望ましい。候補Aが適しているように考えます。	建設位置については、移動の高低差も考慮し、決定します。ご意見については、建設位置を決定する基本計画策定において参考とさせていただきます。
7	20	候補Cの場合、レイアウトが厳しいようですが、弓道場の向き（矢を飛ばす方向）は南向きでないと、行射に差し障りが出ます。強い北風の吹き付けや、日光の直射による安土砂の乾燥劣化などが懸念されます。	ご意見については、建設位置を決定する基本計画策定において参考とさせていただきます。

8	20	候補Bは基礎工事に多額の費用がかかりそうで心配です。工事期間も長期化を危惧します。	建設位置については、費用、工事期間等も考慮し、決定します。
9	資料 検討 図	平面図だけでは建物全体のイメージが良くわかりません。立体図を開示していただきたいです。2階に吹き抜け箇所を多く取ってありますが、その理由を知りたいです。	基本構想に添付している「資料検討図」は各室配置の例示ですので、計画や設計が決定したものではありません。そのため、立面図は作成しておらず、また、現段階で作成を予定しておりません。 吹き抜けについては、例えば多目的スポーツフロアは球技で使用することも想定していることから天井高をある程度確保する必要があるため、吹き抜けとしています。
10		弓道場の設計専門家による、正しい弓道場施設の計画をお願いしたいです。その結果は施設設計に反映していただきたいです。	施設の設計段階において専門家及び関係者のご意見を取り入れ、検討することとします。
11	資料 検討 図	3候補とも弓道場は2階で計画されています。これは屋根付き（室内）なのか、屋上となるのでしょうか。屋上の場合、風雨や天候の影響が大きいので防風雨対策が必要です。	基本構想に添付している「資料検討図」は各室配置の例示ですので、計画や設計が決定したものではありません。そのため、弓道場が室内となるか、屋上に設置されるかを現段階でお示しすることは困難です。屋上の場合、風雨等の影響が大きいことから、ご意見のとおり対策の必要性は認識しています。施設の設計段階において専門家及び関係者のご意見を取り入れ、検討することとします。

12	資料 検討 図	弓道場は2階にあり、高齢者や体の不自由な方には移動に困難が出ます。エレベーターの設置や車椅子でも障害にならないバリアフリーな床面にしたいです。	基本構想の【第3章】事業構想 2 事業規模(1)整備する施設の規模・概要のその他の諸室の項目に、「エレベーター(2階建ての場合)」を追記します。また、施設においてはバリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮します。
13	25	絶対の安全対策が必須です。すでに他の弓道場施設を調査されていますから、それらの対策を織込んでいただきたいです。	基本構想の【第3章】事業構想 2 事業規模(1)整備する施設の規模・概要の弓道場の項目に、「矢の飛び出し等事故防止の対策を講じ、安全安心に活動に取り組める環境を整備」を追記します。
14	25	現在の弓道行事はインターネット接続により、全国の施設や弓道家とリアルタイムな繋がりで実施するようになりました。弓道場にはICT情報接続環境が必要になりました。	ICT(情報通信技術)の活用は、本施設で提供するサービスの充実において必要であると考えます。ご意見については、施設の設計段階において参考とさせていただきます。
15	20, 25	遠的道場が出来ないのはやむを得ないのですが、候補Cであれ弓道場隣にある程度の広さと長さが取れるようにも見えます。課題として残していただきたいです。	必要性を検討し、実現可能性を模索することとします。
16	資料 検討 図	更衣室やトイレの配置を明らかにしてください。トイレは障がいのある方にも使いやすいものにしてください。	基本構想の段階であるため、現時点で更衣室やトイレの配置を明らかにすることはできませんが、障害の有無に関わらず使いやすい施設を目指します。
17	25	夏場の異常な高温で健康被害への対策が必要です。稽古の間に体が冷やせる暑さ避難場所が求められます。	熱中症等健康被害への対策は必要であると考えます。ご意見を踏まえ、施設の設計段階において参考とさせていただきます。

18	25	<p>射場側に弓具庫が予定されていますが、武器としての弓具の格納に大事な設備です。的場で使用する道具用倉庫を的場側に欲しいです。安土整備用具や的を格納します。安土の砂が付着するので、射場側で格納するのは清潔さを損ないます。</p>	<p>弓道に必要な設備設置については、施設の設計段階において専門家及び関係者のご意見を取り入れ、検討することとします。</p>
19	25	<p>弓道の基礎の稽古に巻き藁を多用します。出来れば射場以外の場所を確保したいです。</p>	<p>弓道に必要な設備設置については、施設の設計段階において専門家及び関係者のご意見を取り入れ、検討することとします。</p>
20		<p>下松市では今まで企業の施設をお借りして、運用は武道としての鍛錬が主目的でした。これは大人の健常者が前提となっていました。下松市弓道場は老若男女、健常障害、社会的弱者などの区別無く、全ての市民に楽しめる施設運用が求められます。参考に宮崎県日南市の取組みとしての、四半的の事例をご紹介します。全国的にも利用者が増えており、四半的の競技大会もあります。このような施設活用も織込んでいただきたいです。</p>	<p>基本方針として「様々な人が集まり、生涯スポーツ活動に取り組める環境を整備」することを掲げていることから、それに沿った取組として参考とさせていただきます。</p>
21		<p>学校部活動の地域スポーツクラブへの移管も課題です。小学生でも弓道を希望する方がおり、その受入れのための施設であって欲しいです。具体的には学校部活動の地域引受け施設として指定し、その活動母体として下松市の各スポーツ団体に委任する方法が考えられます。</p>	<p>本施設は、子どもから高齢者まで幅広い年代の方がそれぞれの年齢・技術に応じて気軽に取り組める環境を目指しています。ご意見のとおり、弓道を希望する小学生についても受け入れが可能となる施設を目指します。</p>

22		<p>多人数が参加する行事は一日がかりとなります。飲食の出来る場所や、食べ物を購入できる売店が必要です。飲食の場があれば、人の滞在時間が延びて賑やかさも高まると期待します。</p>	<p>必要性を検討し、実現可能性を模索することとします。</p>
23		<p>高齢者の方の意見をお聞きしたのですが、施設を利用する際の交通手段を心配されています。運転免許証の自主返納を考慮しておられ、自家用車での自力の行動に不安があるようです。以前の温水プール施設の運用では、市内からの送迎バスがあったと聞きました。その再開は可能でしょうか。昨今の運転手不足の問題がありますが、無人運転システムの検討は出来ないでしょうか。電気自動車バスの無人運転システムの実証実験、等の取組みであれば国からの助成金が期待できると思います。</p>	<p>送迎バスの再開は、現時点では未定ですが、施設を利用する際の交通手段については、関連する部署と情報共有を図り、検討を進めます。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
24	26	<p>現在中学校部活動の地域移行が全国的に進められています。下松市においても「くだまつ地域クラブ活動」という枠組みの整備が行われていると聞いています。各スポーツ団体に於いてもその動きに対応すべく準備をしているところです。基本構想内ではP26で触れられているだけですが、下松スポーツ公園の立地の良さ（市内3中学校からほぼ等距離にある）ことも事業用地として最適である点も見逃せません。市内各地からのアクセスの良さ、周辺環境、駐車場など地域クラブ活動</p>	<p>本施設は、学校部活動地域移行後の活動場所の一つとして想定しています。また、PPP/PFI方式の採用については、令和6年度に実施する導入可能性調査において可否を判断することとしています。施設の供用時期については、お示ししたスケジュールより早めることは困難と考えますが、本事業を停滞させることなく、着実に進めていきたいと考えています。</p>

の拠点となる施設だと思いません。もちろん立地だけではなく、地域クラブ活動の方針でも触れられているように「公共施設を使用する際の負担軽減」は重要です。小中高生でも気軽に利用できる料金設定を含めた運営方法は今後協議されるものと思われませんが、実際に施設を利用する側として、各競技団体の意見も十分に取り入れて頂きたいと思えます。また、国の方針としては令和7年度末までの3年間で改革推進期間とされていますが、当施設の事業スケジュールによると令和11年度から供用開始となっています。中学校部活動の地域移行を円滑に進めるためにも、少しでも早期の供用を望んでいますが、そのためPPP/PFI方式が事業として成立することを希望しています。今のところ市内の中学校に弓道部はありませんが、高校の弓道部には毎年20～30人程度の入部があります。

「弓道をやってみたい」という潜在的な希望者は小中学生のなかにも多数いるものと思われれます。現に当弓道連盟にも数人中学生が加入していますが、活動時間が限られているのが現状です。中学生部活動の地域移行は、当面学校部活動の休日の地域移行からですが、いずれ「くだまつ地域クラブ活動」として成立するためには、中学生の多様な要望に応じていく必要が出てきます。そのためにも

		当施設の早期供用開始と受入れ体制の構築が重要となってきます。「くだまつ地域クラブ活動」の拠点となりうることも言及してほしいと考えます。	
25	資料 検討 図	<p>2階部分に弓道場を設置する場合は「南向き」か「室内」が望ましいと考えます。配置図・平面図ではABC共に弓道場は2階に配置されていますが、図面上では2階部分の室内なのか、矢道部分に天井のない半屋外なのか分かりません。矢道部分が屋外だとすると、射場の開口部が大きいという弓道場の特性として一般的に射場は「南向き」が最善とされています。西向きは夕方の日差しで東向きは朝日での的が見にくくなり、また射場の床部分の劣化が早くなります。北向きだと的場が南向きとなり、直射日光で安土の乾燥劣化が進みます。冬期の日差しによる暖房効果も見込めません。図面によるとA・Bが東向き、Cが北向きとなっています。以上のことからC案を採用する場合は、射場と的場の位置を入替え、南向きとなるよう設計する必要があります。矢道部分にも屋根がある屋内弓道場であれば向きの問題はありません。日光や風雨による設備の劣化が少なく、メンテナンス費用も軽減されると思われます。さらに以下の利点が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策ができる。弓具はあくまで武具であり、矢の危 	基本構想に添付している「資料検討図」は各室配置の例示ですので、弓道場の向き、室内配置を含め、計画や設計が決定したものではありません。ご意見については、基本計画策定・施設設計において参考とさせていただきます。

険性は言うまでもありません。特に初心者の内は不安定で、思わぬ方向へ矢が飛ぶことも皆無ではなく、そのため弓道場には矢止め等が設けられるのが一般的です。当施設の場合、周囲は一般人が自由に立ち入れる公園であり、万が一にも施設外に飛び出さないよう配慮する必要があります。室内弓道場であれば、ほぼその心配はなくなります。

・施設の簡略化が図れる。射場、的場とも開口部が大きいのが弓道場の特徴ですが、そのため雨の降り込みを軽減する大きな庇や、大型の開閉扉が必須となります。特に開閉扉は毎日の使用するので最も傷みやすく、各地の弓道場でも苦勞されています。室内弓道場であれば、庇や開閉扉の設置は不要となりますし、その他簡略化できる設備もでてきます。

・多目的スペースとして利用しやすくなる。当施設は防災公園と位置づけられていますが、施設内でも大きなスペースを占める弓道場が室内となれば、その利便性は高まり、平常時でも多目的スペースとして利用しやすくなります。

26	34, 資料 検討 図	<p>エレベーター設置を明記してほしいと考えます。基本構想P34でもバリアフリー・ユニバーサルデザインについて触れていますが、県内の弓道競技者にも車いすの方がいらっしゃいます。2階に弓道場がある県内施設では必ずエレベーターがありますので、当然本施設でも設置されると思いますが、その表記がどこにも見えません。もちろんまだ構想段階で図面も参考資料なのでしょうが、必要最低限の設備なのでこの段階でも表記が可能かと思えます。さらに弓道場の参考図面と言えば「体配の練習が出来る広さ」が不十分です。間口は6人立ですが、奥行きがこの図面ではもう2m程度欲しいところです。具体的な設計段階で、射場の大きさやその他付帯施設の配置などが検討される際には、実際に使用する側の意見も十分に取り入れていただきたいと思えます。</p>	<p>基本構想の【第3章】事業構想2 事業規模(1)整備する施設の規模・概要のその他諸室の項目に、「エレベーター(2階建ての場合)」を追記します。また、施設においてはバリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮します。</p> <p>基本構想に添付している「資料検討図」は各室配置の例示ですので、弓道場の広さを含め、計画や設計が決定したものではありません。ご意見も踏まえ、施設の設計段階において専門家及び関係者のご意見を取り入れ、検討することとします。</p>
27	資料 検討 図	<p>旧下松市武道館で問題になっていた更衣室とトイレが男女共用になっていた件ですが、新下松市多機能複合型スポーツ施設については、この件は解消されていると考えて良いでしょうか。資料検討図から読み取れなかったので、お尋ねします。</p>	<p>更衣室及びトイレは男性用と女性用で区別して設置します。</p>
28	24, 25	<p>武道館の何処かに父兄が見学できる観客席が有ればうれしいです。</p>	<p>武道の観覧スペースの確保については、規模等を含め、検討することとします。</p>

29	24, 25	武道場利用時の更衣室（男女）が必要と思います。	基本構想の【第3章】事業構想 2 事業規模(1)整備する施設の規模・概要のその他諸室に「更衣室」を追記します。
30	24, 25	大会開催時には観客動員があるため、武道場に観客席の設置を要望します。	武道の観覧スペースの確保については、規模等を含め、検討することとします。
31	24, 25	常設の柔道畳の撤去・設置とあるが、二面分の確保時、柔道畳の収納場所不明です。	基本構想の段階であるため、収納場所について記載しておりませんが、収納スペースは必要であると認識しています。施設の設計段階において配置、規模等を検討することとします。
32	24, 25	柔道畳の撤去・設置は誰がするのでしょうか。	基本構想の段階であるため、運用方法について具体的に記載しておりません。円滑な運用管理ができるよう、運用方法を検討することとします。
33	24, 25	トイレ（男女別）設置を要望します。	更衣室及びトイレは男性用と女性用で区別して設置します。
34	24, 25	武道場に冷暖房、換気装置の設置を要望します。	ご意見については、基本計画策定において検討することとします。